

## ヒアリ対策の徹底について

これまで国内で確認されていなかった特定外来生物のヒアリが、本年6月以降、全国の港湾を中心に相次いで確認されており、積荷の運搬に伴う内陸部への拡散も危惧されている。

8月には岡山県の水島港において中四国初となるヒアリが確認され、その後広島県の広島港でも確認されるなど、もはや中四国地域も例外ではない。

ヒアリは毒性が強く、生態系のみならず、人的被害発生の恐れもあり、ひとたび定着すれば防除には多大の労力・負担が必要となることから、侵入初期段階での徹底防除及び拡散防止が重要となる。国内定着防止のため、徹底した水際対策の継続的な実行とともに、各地域の状況に応じた迅速かつ効果的な対策の推進が必要である。

そのため、国は関係省庁の連携により、侵入初期段階での徹底防除及び拡散防止のための追跡調査等の対策について、強力なリーダーシップを発揮し、主体的かつ積極的にこれを実施するとともに、地方と連携した効果的かつ恒久的な体制を構築し、地方での侵入予防、防除措置、拡散防止対策等への技術的、財政的支援を行うべきである。

また、海外のヒアリ定着国のうち、日本との定期貨物航路等を有する国に対し、当該国内における防除対策及び貨物輸出の際の点検、駆除等の徹底について、強く要請すべきである。

平成29年9月4日

中四国サミット（中国・四国9県知事、中国・四国経済連合会会長）